

「飛ぶ前に見よ」という言葉には、海外渡航をする前にその土地について調べる必要がある、という意味が込められている。日本の中学校や高校の修学旅行の際に課される、事前学習にあたるものである。これを自分で積極的に行うべきであるという主張である。

しかし、多くの人はこの過程を怠りがちになる。特に、海外旅行の場合、休暇の意味合いが強く、調べることにかける時間は惜しまれる。事前に調べる内容は幅広くれば広いほど良く、深ければ深いほど良い。そのため、確かに時間は費やされるものだが、それでも事前学習の価値はその費やした時間に値するものである。

なぜならば、事前に調べることで、渡航先での経験はより充実したものになるからだ。さらに、事前に調べなければ、危険も伴う場合がある。私はこの重要性を理解した上で、今後マレーシア渡航に向けてマレーシアの文化や自然などについて調べていきたい。事前に調べる重要性として、私は次の2点を挙げる。

はじめに、知っていることで気付けることが多く、非常に面白いのである。逆に、知らなければ、何も感じずに通り過ぎてしまうものが多々あり、それはとてももったいないことである。私の印象に残っている先生の教えがある。それは菅平実験センターに実習で行った最後の日に、先生が話されたものである。きちんとは覚えていないが、次のような内容である。実習に参加した学生は雪に残っている動物の足跡や糞、木に残っている爪痕など、動物たちの軌跡を追った。その経験があるからこそ、今まで気付きさえしなかったそれらに目を向けるようになり、それから動物たちの生活を連想するようになるのだ。これは、今後の私たちの人生をより豊かなものにする。このようにおっしゃった先生の言葉は私の頭の片隅に常にあり、それ以来可能な限り様々な経験をし、より幅広い知見を得たいと思うようになった。実際に、私はその実習の後、砂浜に残っている鳥の足跡などを注視するようになった。鳥が歩いている様子が思い浮かべられ、それだけでわくわくするのである。

次に、知らないことは自分の身の危険に繋がる。特に海外では日本の常識が常識でないこともあり、日本で良いとされていることが失礼にあたることさえある。例えば、その土地にある危ない場所を知らないで渡航したら、お金を奪われてしまったということもある。日本は安全な国として知られているが、日本で普段から生活している私たちは安全な土地にいるということを忘れがちになっている。イタリアはスリが多いことで有名だが、やはりガイドさんがスリの多発する場所を事前によく教えてくれていた。それを防ぐためにはどうすれば良いかも教えてくれ、横目にスリを見ることはあっても私が被害を被ることはなかった。これは事前に私が知っていて、注意をしていたからである。そこではガイドさんがいたが、マレーシアでは特にガイドさんはおらず、自分で予め調べる必要を感じている。

事前に調べることはそれなりに大変かも知れないが、調べることでその土地へ行ってみたいという気持ちも膨らむ。私はしっかりと調べることで、自分のモチベーションを上げると同時に、行った先で少しでも多くのものを吸収していきたい。